

VRF の対応ルータの MGCP サポートの設定例

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[MGCP および VRF ライト](#)

[確認](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Voice Routing and Forwarding (VRF) の有効なルータで、メッセージゲートウェイコントロールプロトコル (MGCP) を設定する方法について説明します。

MGCP を見なすことを理解するはずである 2 つの主要な要素があります：

- エンドポイント
- コール エージェント

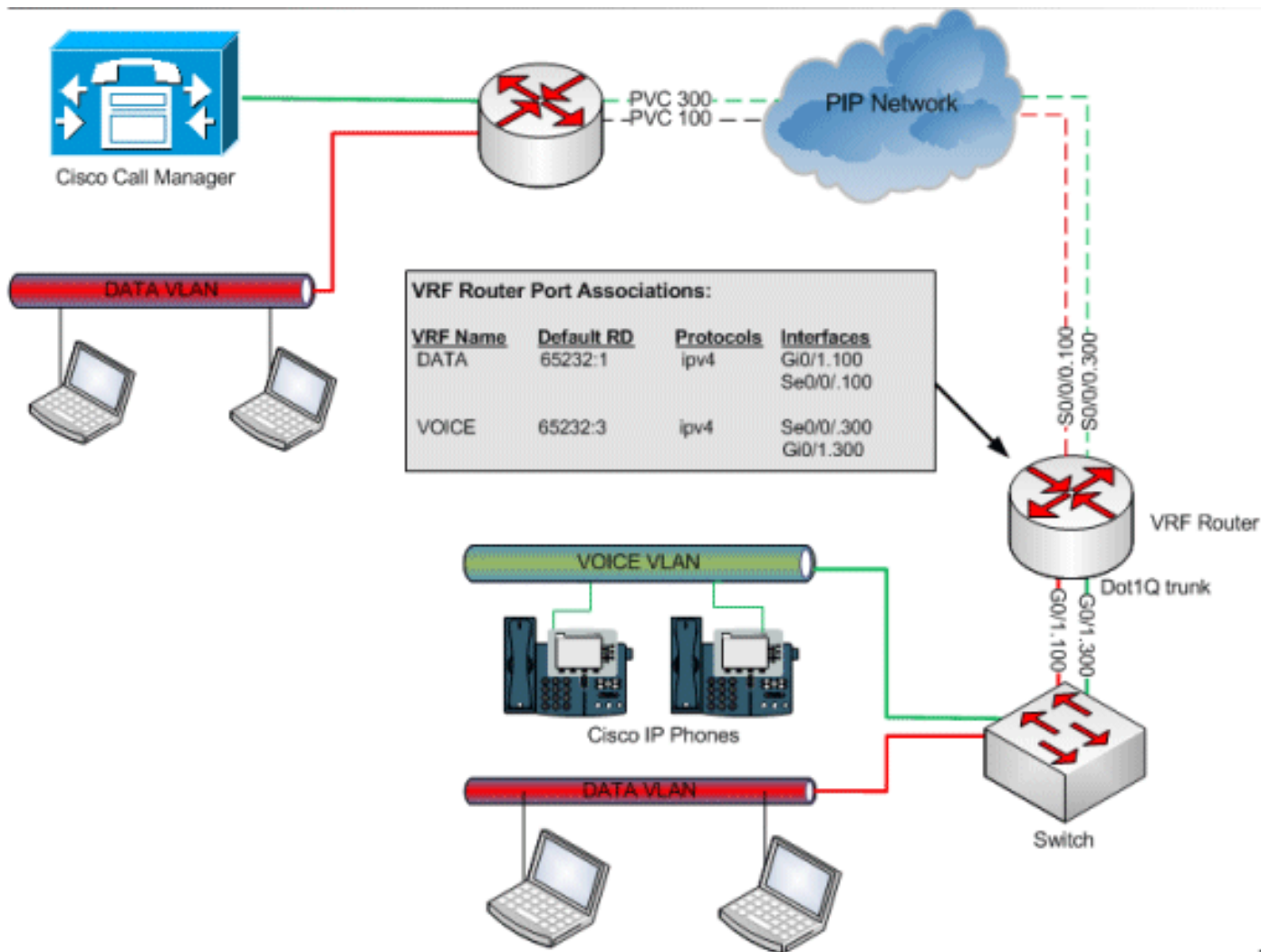
エンドポイントとは、指定されたゲートウェイ上にある任意の音声ポートです。これらの音声ポートは PSTN にアナログポートへの接続、外国為替事務所 (FXO) /Foreign Exchange Station (FXS) のような、およびデジタルトランクを、T1 または E1 のような、提供します。ゲートウェイは含まれているポートの数に依存した複数のエンドポイントがある場合があります。

コール エージェントは音声システムの外部制御デバイスです。このドキュメントでは、Cisco CallManager がコール エージェントに相当します。MGCP におけるコール エージェントは、ゲートウェイを完全に制御できるデバイスです。すべての管理がコール エージェントによって実行されるので、これは非常に効率的なシステムです。すべてのルートパターンとダイヤルプランの設定は Cisco CallManager で行うので、ゲートウェイ側で行う必要がある設定作業はごくわずかです。

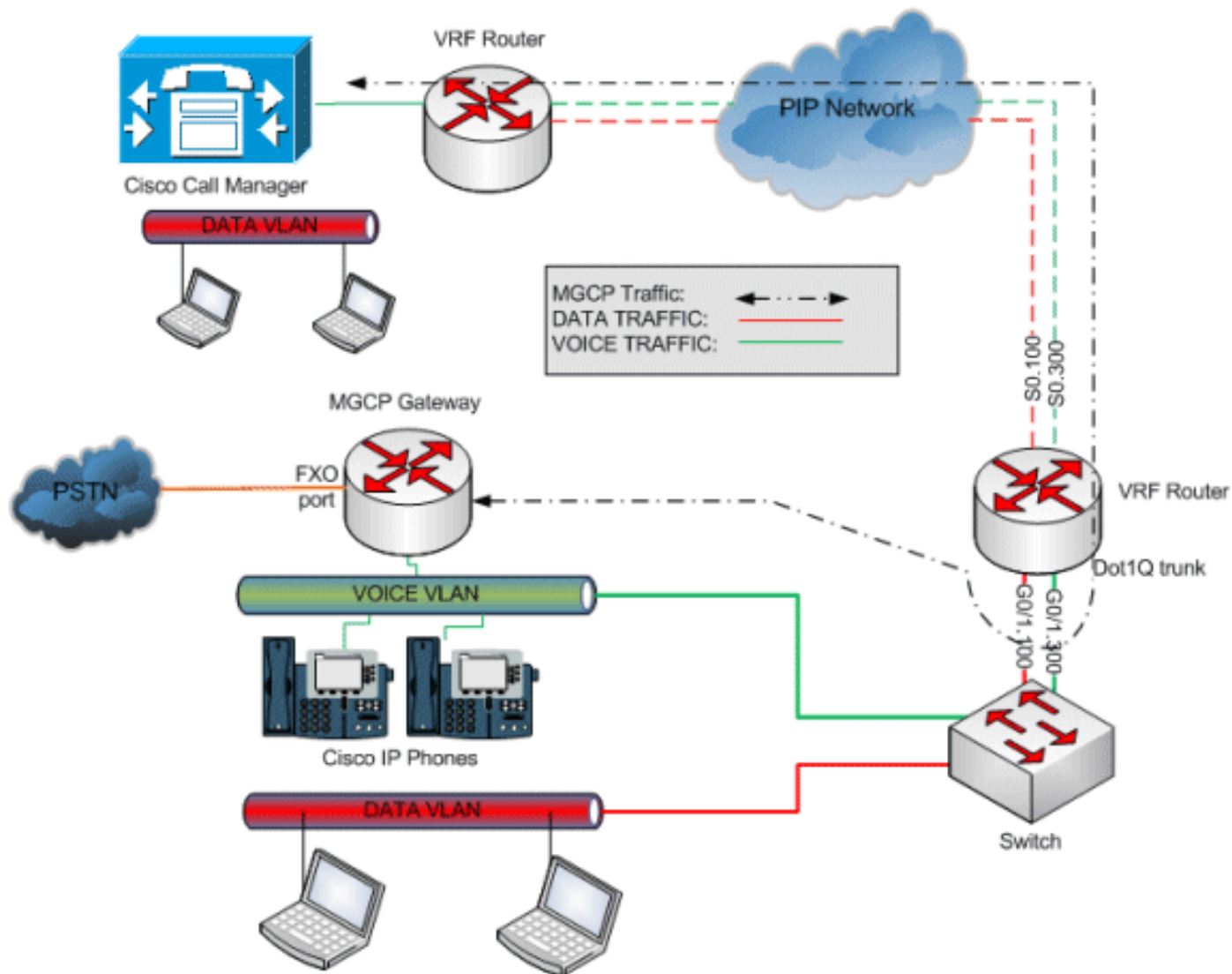
このプロトコルは制御だけを目的として使用されることに注意してください。MGCP プロトコル自体は、音声データの転送には使用されません。音声データの転送はすべて、電話機とゲートウェイの間で直接行われます。このグラフィックは MGCP 通信関係を描写します：

MGCP が「VRF わかっている」プロトコルではないので、音声 VRF に MGCP トラフィックを入れるために IOS 音声ゲートウェイを設定できません。MGCP トラフィックは VRF コンフィギュレーションに関係なくだけルータのデフォルト ルーティング ルーティング・テーブルを使用します。

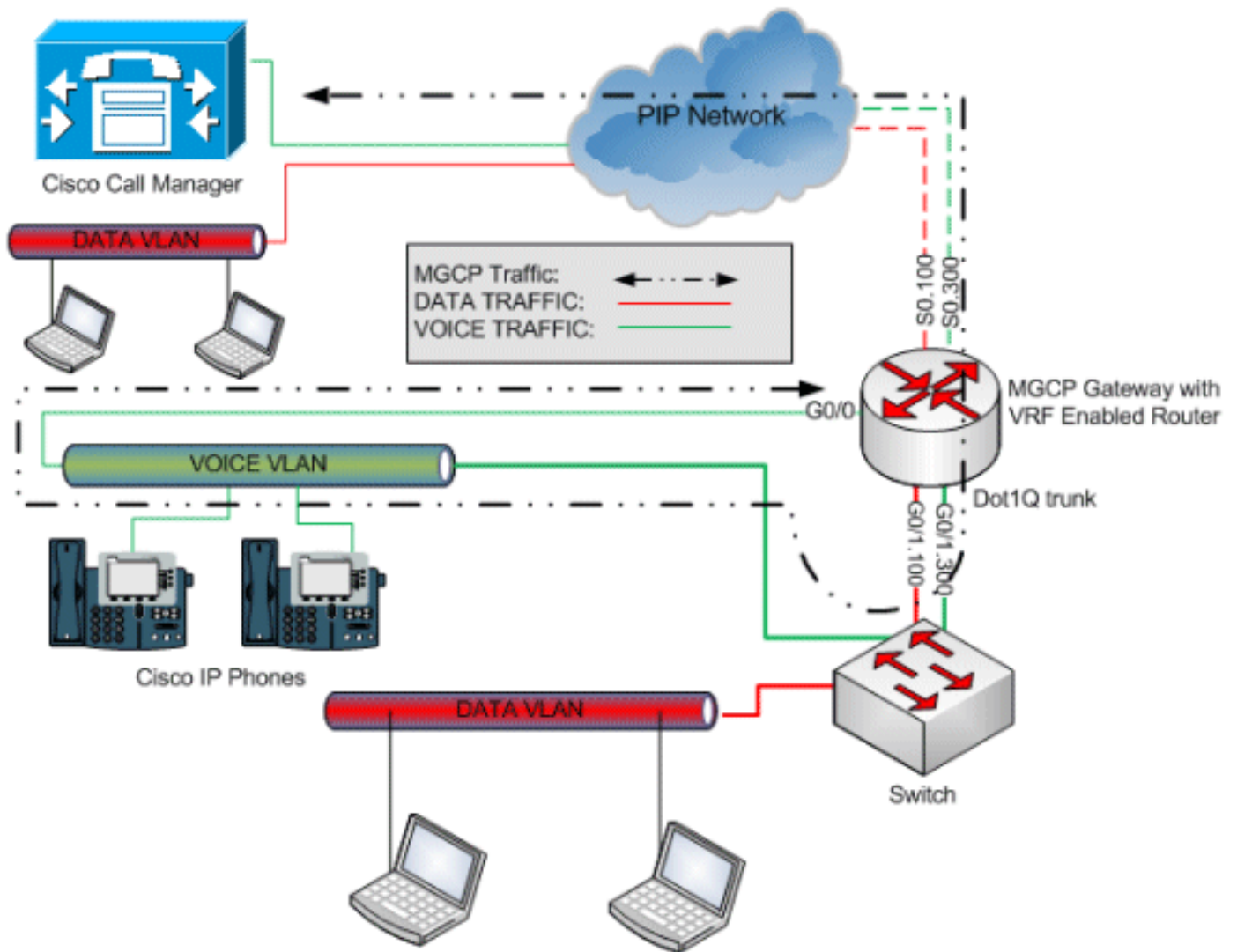
典型的な VRF 配備の MGCP をサポートする 2 つのソリューションがあります。この典型的な VRF ネットワークシナリオを参照して下さい:



2人のルータを使用する MPLS VRF ルーティングをする第2ルータにイーサネットトラフィックを提供する基本的なルータ (VRF 無し) として機能している MGCP ゲートウェイとの1つを、すなわち、確立できます。それがちょうどルーティング手法である MGCP が気づいていないのでそれから VRF ルータ上の MGCP トラフィックをルーティングでき。



もう一つの同じようなソリューションは単一 VRF ルータを使用し、音声ネットワークに MGCP トラフィックを送信するのに第 2 利用可能な インターフェイスを利用することです。



スイッチングネットワークの voice VLAN にインターフェイスを接続することは VRF インターフェイスおよび最終的に CallManager によってルータに再びルーティングされるに MGCP プロトコルを可能にします。

VRF ルータ VRF インターフェイスの IP をまたは voice VLAN を離れて DHCP アドレスを与えられる必要だけのグローバルなルート指す IP およびスタティックルート。これらのコンフィギュレーションの詳細を参照して下さい:

```
hostname VRF_MGCP_rtr
!
ip DATA
rd 65232:1
route-target export 65232:1
route-target import 65232:1
!
ip VOICE
rd 65232:3
route-target export 65232:3
route-target import 65232:3
!
interface GigabitEthernet0/0
description MGCP interface
ip address dhcp !-- USE DHCP or Static IP address from VOICE VLAN ! interface
GigabitEthernet0/1 no ip address duplex full speed auto no keepalive ! interface
GigabitEthernet0/1.100 description DATA VLAN encapsulation dot1Q 1 native ip forwarding DATA ip
address 10.1.232.1 255.255.255.0 ntp broadcast ! Interface GigabitEthernet0/1.300 Description
VOICE VLAN encapsulation dot1Q 2 ip forwarding VOICE ip address 10.2.20.129 255.255.255.128 !
```

```
Interface Serial0/0/0 no ip address no encapsulation ppp encapsulation frame-relay IETF !
interface Serial0/0/0.100 point-to-point description DATA PVC ip forwarding DATA ip address
10.1.52.198 255.255.255.252 frame-relay interface-dlci 100 IETF ! interface Serial0/0/0.300
point-to-point description VOICE PVC ip forwarding VOICE ip address 10.2.54.198 255.255.255.252
frame-relay interface-dlci 300 IETF ! mgcp mgcp call-agent 10.1.255.241 2427 service-type mgcp
version 0.1 mgcp bind control source-interface GigabitEthernet0/0 !-- Bind to MGCP Interface
mgcp bind media source-interface GigabitEthernet0/0 mgcp bind media source-interface
GigabitEthernet0/0 ! mgcp profile default !
```

確認

現在、この設定に使用できる確認手順はありません。

関連情報

- [音声に関する技術サポート](#)
- [音声とユニファイド コミュニケーションに関する製品サポート](#)
- [Cisco IP Telephony のトラブルシューティング](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)